



武蔵野市とさらなる交流を

2/5 友好都市提携調印式

東京都武蔵野市友好都市提携調印式が2月5日、武蔵野市内のホテルで行われました。

調印式には、平林市長と水谷嘉明議長、邑上守正武蔵野市長と山下倫一武蔵野市議会議長が協定書の調印を行いました。武蔵野市との交流は、旧豊科町のときに始まり、文化・芸術・産業などで交流を行ってきました。更なる交流を進めるため安曇野市として、改めて盟約を結びました。



税について理解を深める

税に関する標語・作文・標語書道表彰

税の大切さを知ってもらおうと安曇野市租税教育推進協議会が実施した税に関する標語などのコンクールの表彰が行われました。今回は、市内の中学・高校生から1,808点の応募がありました。

- 標語の部** 関東信越税理士会松本支部長賞
宮澤 知里さん(三郷中1年)
- 作文の部** 松本地区納税貯蓄組合連合会長賞
草間 樹理さん(三郷中3年)
関東信越税理士会長野県支部連合会長賞
板垣 智子さん(豊科高3年)
- 標語書道の部** 松本税務署長賞(金賞)
宮崎 漸さん(明科高3年)

※このほかの受賞者は、市ホームページで紹介しています。

若い力が世界へ、全国へ挑む

2/20・22・28 市長表敬訪問

安曇野の中学生、高校生が全国大会やW杯へ出場を果たすなど若い力が活躍しています。

2月16日から北海道富良野スキー場で行われたスノーボードW杯パラレルジャイアントスラローム(PGS)に初出場を果たした三郷明盛の丸山美樹さんが2月20日、平林市長に出場報告(写真③)を行いました。

22日には、全国高等学校選抜弓道大会男子団体(3/17~19・茨城県開催)に出場する豊科高校弓道部の4人と全国高等学校選抜スキー大会(アルペン種目)に出場する田原美紀さんが訪れ、全国大会へ向けて抱負を語りました。(写真②)

また、28日には全国中学校選抜卓球大会(3/28~29・北海道千歳市開催)に出場する堀金中学校女子卓球部の8人(写真①)が市長を訪問し、「目標は予選1位通過です」と決意を語りました。



話題の人たちが講演

2/10・18 信大・笹本教授、柳生 博さん講演

信州大学の笹本正治教授と俳優の柳生博さんの講演会が、それぞれ豊科公民館で行われました。

笹本教授の講演(写真④)は2月10日に行われ、武田信玄とその軍師・山本勘助の実像について解説しました。この講演は、信州大学人文学部と市が連携協定を締結したことを記念し開催したもので、来年以降は、市民大学講座として開催する予定です。

柳生さんの講演(写真⑤)は2月18日に行われました。柳生さんは俳優だけでなく、作庭家や日本野鳥の会会長としても活躍しています。講演の中で得に強調していたのは白鳥と田んぼの話で「冬も田んぼに水を入れていれば、安曇野は水鳥にとっても、あこがれの地となるのではないかと熱い口調で、約800人の来場者に語り掛けました。



止まらないポイ捨て

2/16 地元中学生が黒沢川を清掃

三郷中学校1年2組の生徒による河川清掃が2月16日、真々部山道橋周辺で行われました。

この活動は、総合学習の時間に黒沢川の自然を学んだことがきっかけとなり、昨年12月から毎週行われています。この日は、10人の生徒が空き缶や弁当の容器など3袋分のごみを拾い、「黒沢川にごみを捨てないで!」と書かれた手作りの看板を設置しました。生徒たちは「ごみを拾っても、1週間して来るとまた捨てられている。最初よりは良くなったと思うけど、何とかならないものかと思う」と切実に話しています。



おいしく食べる技と知恵を伝授

2/16 冬の手づくり食べもの道場

冬の手づくり食べもの道場(市・松本農業改良普及センター安曇野支所主催)が2月16日、豊科真々部公民館で行われました。

この日は、豊科地域の主婦約20人が参加して巻き寿司やおはぎ、かす汁などお米を使った料理に挑戦しました。参加した主婦たちは、地域で伝統食づくりを教えているベテラン主婦の指導で、安曇野の食材を調理しながら、おいしく食べる技や生活の知恵を学びました。

食べもの道場は、全3回で行われ、これまで冬野菜の漬物や豆腐作りなどを学びました。